

危危山下の五世世和院人の  
若芝とて川に下りて三丁  
尋てお堂南多隣長秋家の  
軒に花と川の空を明らや  
ちりまぐらうしてさうし  
たれいせの椿堂に河の舟也  
徳呂旭亭秋舞々と和園の  
墨山も来合をうと来う節  
ふお月是人とたのゆる  
へさうしてさうて頼る杖  
とさうしてさうてさう

末免とふ堂里古景の小笠月 大鳥

お道

作院もこ長小所もこ今月の 埴間  
半尔年をけりてさうてさう月 秋情  
まの戸お月と河は能くく 来山  
満月のうし経切ちと起おれ 大亭  
若め。花経けと歩り月見と節 扇所  
名月のおうけと巻も秋し紅 魯堂  
月二月同尔ちとさの跡はし 登元  
ハ銅板しとさうて人のさうさ  
名月小折乃白いも寸さ節と来 池女  
秋家の名月とさうて秋家か節 帯梅

文化三年丙寅秋八月

